

ボランティア・福祉通信

～むろみん 紙面提供コーナー

地域応援団

もちつき通し地域交流

平成20年から始まり、毎年好評を得ているこの行事は今年11回目を迎えた。平成26年からはグループホーム入居者・職員だけでなく、地域のボランティアの方々も参加しており、ますます地域に欠かせないイベントとなっています。

ボランティアや職員の方々が機材の用意やあんこづくり、炊飯等の準備をしてくれましたが、もちろんつきには入居者の方々も参加し、重たい杵で上手につく方や、中には慣れた手つきで合いの手をする方もいました。完成したおもちゃを参加者でいた、「おいしかった」「疲れたけど楽しかった」といった声がありました。

昨年12月27日、グループホームぬく杜の郷・しおさい内に併設された認知症力フェ「ぬく杜力フェ」にて、恒例の年末もちつきが開催されました。

ぬく杜の郷の認知症力フェ



グループホームぬく杜の郷・しおさい内の認知症力フェでの恒例のもちつき風景

ぬく杜力フェは認知症の方が本人やそのご家族、地域住民の方が安心して立ち寄ることができます。温かいコーヒーを飲みながら参加者の皆さんで休憩したり、日ごろの困りごとなどを相談したりしています。問い合わせは電話0142・83局7711番。

藤井丈彰施設長は「今後もこのようなイベントを通して地域とのつながりを増やしていくければと思います。普段から気軽に立ち寄ることができる場所を目指していますので、ぜひ顔を出してほしいです」と話していました。